

**(様式2) チェックリスト 記入要領** ※ 本書類は、申請者作成が原則です。  
 ※ 本チェックリストは「根拠となる資料」をもとに、申請者自身が確認を行い作成するものです。  
 ※ これ自体は「根拠となる資料」とはなりません。別途必ず、「根拠となる資料」を添付下さい。

● 以下の記載は、複数型式の申請の例です。  
 一型式の申請は、最初の1行のみの記入となります。

根拠となる資料とは

- ・ 当該設備の性能が分かるもの（“lm/W” など算出した数値データが分かるもの）
- ・ 当該設備の販売開始年度がわかるもの
- ・ 一代前モデルの性能が分かるもの（“lm/W” など算出した数値データが分かるもの）
- ・ 一代前モデルの販売開始年度がわかるもの
- ・ 旧モデルが全くない当該設備について申請される場合は、当該設備に旧モデルが全くないことの理由、考え方等を記入した資料（様式は問いません）
- ・ 日本照明工業会会員は専用書式をご利用ください。

一定期間とは、申請する年度に対し  
 建物付属設備で申請の場合；14年以内  
 機会及び装置で申請の場合；10年以内  
 です。

● 照明器具の指標は③を選択し、原則 “lm/W” を記載。  
 ● “lm/W” が表示されていない、誘導灯や非常灯等は、“W” でも可。

年 月 日  
 照明器具製造業者等名：  
 〇 照明器具製造株式会社

【チェックリスト】

記入例

＜比較指標＞（※）以下の1～3までのいずれかの指標で比較。  
 1. 単位時間あたり生産量【 】 2. 歩留まり率【 】 ③. 投入コスト削減率【lm/W】  
 照明器具の指標は【3. 投入コスト削減率】を選択し【 】内に “lm/W” を記入（“lm/W” が表示されない誘導灯や非常灯等は “W” でも可）

設備(型式)	販売開始要件の確認		生産性向上に該当するか				旧モデルなし <small>*旧モデルなしの場合 は〇を付けること</small>	当該要件への 当否	証明者 チェック欄	
	当該設備の販売開始日が、取得日から一定期間(※1)に属する年度開始の日以後であること		当該設備の ＜指標数値＞	一代前モデル (型式)	一代前モデル (販売開始年度)	一代前モデルの ＜指標数値＞				＜生産性向上＞
XYZ-1234	①販売開始年度 2016年度	②-①= 1年	1. 該当 〇	当該設備の ＜指標数値＞ 100	一代前モデル (型式) ABC-456	一代前モデル (販売開始年度) 2013年度	一代前モデルの ＜指標数値＞ 80	＜生産性向上＞ 年平均 8 %	1. 該当 〇	1. 該当 〇
	②取得等をする年度 2017年度		2. 非該当						2. 非該当	2. 非該当
DEF-5678(HH333AB)	①販売開始年度 2004年度	②-①= 13年	1. 該当 〇	当該設備の ＜指標数値＞ 95	一代前モデル (型式) RTY-567T	一代前モデル (販売開始年度) 2000年度	一代前モデルの ＜指標数値＞ 50	＜生産性向上＞ 年平均 22 %	1. 該当 〇	1. 該当 〇
	②取得等をする年度 2017年度		2. 非該当						2. 非該当	2. 非該当
SDD-246+RW211	①販売開始年度 2014年度	②-①= 3年	1. 該当 〇	当該設備の ＜指標数値＞ 120	一代前モデル (型式) SDD-240T+RW200	一代前モデル (販売開始年度) 2012年度	一代前モデルの ＜指標数値＞ 90	＜生産性向上＞ 年平均 16 %	1. 該当 〇	1. 該当 〇
	②取得等をする年度 2017年度		2. 非該当						2. 非該当	2. 非該当
HJ-358	①販売開始年度 2015年度	②-①= 2年	1. 該当 〇	当該設備の ＜指標数値＞ 60	一代前モデル (型式)	一代前モデル (販売開始年度) 20年度	一代前モデルの ＜指標数値＞	＜生産性向上＞ 年平均 %	1. 該当 〇	1. 該当 〇
	②取得等をする年度 2017年度		2. 非該当						2. 非該当	2. 非該当
20年度	①販売開始年度 20年度	②-①= 年	1. 該当	当該設備の ＜指標数値＞	一代前モデル (型式)	一代前モデル (販売開始年度)	一代前モデルの ＜指標数値＞			
	②取得等をする年度 20年度		2. 非該当							

年度とは  
 1月1日～12月31日の間です。

照明器具の型式を記入。  
 構成する光源型式等も全て記入。  
 ● 一型式申請時の(様式1)  
 ● 複数型式申請時の(様式1-別紙)  
 に記入する型式はここに  
 記入したものとひとしとして下さい。

申請する型式数が多く記入欄が  
 足りない場合は用紙を追加して  
 下さい。

生産性向上の年平均%計算式  
 (当該設備の指標値－旧モデルの指標値) ÷ 旧モデルの指標値 ÷ 販売年度の差 × 100  
 = (120 - 90) ÷ 90 ÷ (2014 - 2012) × 100 ≒ 16  
 四捨五入では無く、小数点以下切り捨てで記入。1%以上であること。

メーカー名記入(1社のみ)  
 押印は不要です。

比較すべき旧モデルが全くない新製品の  
 場合は、旧モデルなし欄に“〇”印を記入。  
 旧モデルがない理由の資料を添付下さい。

・ 「旧モデルなし」というのは、第一号製品でそれ以外の製品が社内に一切存在しない等、非常に限定的な場合です。  
 ・ 新製品で、直接的な旧モデルがない場合でも、似たような用途で使われている既存製品と性能比較をして下さい。  
 ・ 同じ光源での比較ですので、例えば蛍光灯で発売していたモデルをLED照明にて開発した第一号製品であれば、旧モデル無しということになります。  
 ・ 旧モデルなしの場合、他社の類似製品と比較して指標数値が著しく低い場合には、非該当と判断する場合があります。